

株式会社日本インフォメーションシステム

～新しい業界に進出、社会インフラ分野での情報技術活用が進む～

これまで蓄積したノウハウや経験によるコンサルティング営業を行うことで、大手インフラ関連企業と成約しました。人手不足の影響が大きい業界で、効率化に寄与する技術の導入が進んでいます。



株式会社日本インフォメーションシステム
外門代表取締役会長

電波を介して情報を読み取る非接触型の自動認識技術（RFID）の技術開発に専念し、日本を代表するRFID専門企業を目指しています。物流、金属・金属製品管理、医療検体・医薬品管理、医療廃棄物管理など約100社に採用され、様々な場所で管理や把握の効率化に役立っています。

新しい業界でのRFID技術の展開を目指し、ジェグテックを活用しました。

〈漠然とした課題を解決する提案力が鍵〉

人手不足の影響があり、RFID活用に関する相談が増えてきています。大手企業等とのマッチング準備では、当該分野で想定される効率化技術などを事前に検討しました。マッチング先の課題に応じて、コンサルティング営業を心掛けています。大手企業側は、漠然とした技術課題をもっている場合が多く、その課題に解決できる提案をいかに行うかがポイントになりました。

〈大手企業の商談担当者、意思決定者で着目点異なる〉

大手企業との商談では、各種RFID及び読み取り装置等を持ち込み、より具体的な課題解決策の検討を行いました。大手企業の商談担当者は、利便性や使い勝手が評価のポイントになることが多いですが、最終的な意思決定者の視点は、リスク、コスト、効率性となる場合があります。当社は、担当者への提案と、最終意思決定者への提案の両方を準備し、説明しました。



様々な用途での活用が進むRFID技術

中小企業 × 大手インフラ関連企業



共同開発

情報技術

マッチングが成約したポイント

- 1 大手企業担当者の漠然とした技術課題に対して、解決できる提案を行ったこと。
- 2 各種RFID及び読み取り装置等を持ち込み、より具体的な課題解決策の検討を行ったこと。
- 3 着目点異なる大手企業の担当者、最終意思決定者に対して、それぞれの視点にて、提案を行ったこと。

商談後、取引条件、全体の方向性にかかる確認を行った後、秘密保持契約を締結しました。その後、共同開発メンバーの紹介を受け、大手企業と共同開発を行っています。



人手不足や作業ミスを防ぐという視点で、脚光を浴びるRFID技術

〈新しい業界での取引可能性が広がりました〉

大手企業と組むことで、新しい業界が抱える課題を理解するとともに、知見やノウハウを蓄積することができました。

情報技術について、社会インフラ分野での省人化、見える化の技術活用が進んでいます。社会インフラ分野での経験により、新しい取引先を開拓していきたいと思えます。



社会インフラ分野などで情報技術活用が期待されています

ジェグテックのマッチングを振り返って

RFID技術の採用可能性は広がっていますが、限られた人的リソースでは、新しい業界のニーズを開拓していくには限界があります。業界を代表するリーディングカンパニーとの連携は非常に重要であり、ジェグテックに期待しています。

- 代表取締役会長：外門 功 ● 本社所在地：東京都港区浜松町2-1-16 SVAX浜松町Ⅱビル7F
- 電話番号：03-3578-0203 ● 資本金：1億4,649万円 ● 従業員数：11人
- ホームページURL：<http://www.jis-rfid.co.jp/>

ジェグテック 日本インフォメーションシステム

検索